

『日本 DC フォーラム』に協賛。DC 法改正に向けた対応、 商品ラインナップの見直しについて講演しました。

アセットマネジメント One 株式会社は、2017年10月13日に開催された NPO 法人 確定拠出年金教育協会主催の『第6回 日本 DC フォーラム』に協賛、講演を行いました。本フォーラムは「DC（確定拠出年金）の受託者責任～加入者目線の商品提供と教育～」をテーマに、DC 法改正の最新動向やライフプランニングと資産形成についての講演、商品選定における事業主の関わり方についての事例の紹介等を趣旨として企業型 DC に関わる事業主に向けて行われました。

その中で当社は「法改正対応待たなし!! 商品ラインナップ見直しのポイント、とは?」と題し、資産運用会社の視点から、DC 法改正のポイントである運用商品提供数の上限および指定運用方法の考え方、ならびに商品ラインナップの見直しや加入者向け投資教育等について、DC 推進室長の福井健至が解説しました。企業型 DC の事業主の間で注目されているテーマでもあったことから、主催者側の受付開始から数日で予約は定員を超え、講演後のアンケートでも「良かった」「商品ラインナップの見直しに大変参考になった」という声を多くお寄せいただきました。

将来に向けた資産形成の重要性が叫ばれる中、DC を取り巻く環境も今、大きな変革期を迎えています。人生 100 年時代の日本の長寿社会において、当社では運営管理機関や事業主等のみなさまとともに、ご加入者の資産形成の中長期的なパートナーになれるよう努めてまいります。



会場の様子。企業型 DC の事業主の方が熱心に聴講されていました。



『第6回 日本 DC フォーラム』概要

http://www.npo401k.org/2017/10/18/dc_forum2017/

以上

【ご注意事項】

●当資料は、確定拠出年金運営管理機関/プランスポンサー/運用商品提供機関向けにアセットマネジメント One 株式会社が作成したものです。当資料を関係者以外の第三者に配布または提示することは金融商品取引法違反となる可能性がありますのでご留意下さい。万が一、関係者以外の第三者が当資料の内容を参考にして行動された場合、アセットマネジメント One 株式会社はそれによる一切の責任を負いません。また、個別商品の投資勧誘を目的とするものではありません。

●投資信託は、株式、債券、リート等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入る有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

●当資料は、アセットマネジメント One 株式会社が信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料における内容は作成時点（2017年10月27日）のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

投資信託は

1. 預金・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【アセットマネジメント One について】

アセットマネジメント One 株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約54兆円とアジアトップクラスの規模を誇ります。統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

HP：<http://www.am-one.co.jp/>

※運用資産残高は2017年6月末時点。

商号等／アセットマネジメント One 株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会／一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会